

No.100

2018

6月15日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
杉田洋一
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

萩の郷創刊100号記念 特集号



萩山神社境内 奉納の舞

天候に恵まれ日差しも暑い中
萩山神社春季例大祭
三月二十四日・二十五日 奉納

例年になく初夏を思わせる天候に恵まれ、萩山神社春季例大祭が区関係各位と、保存会幹事長 長尾氏の采配のもと、担当幹事各位と区民皆様の協力・ご尽力により無事奉納されました。

獅子曳きの三人の小学生、暑い陽射しの中、又慣れぬ草鞋・重い衣装で踊る姿は実に立派でした。

貴重な体験は良い思い出になると思います。

二十五日には浦安の舞も各区代表の舞姫により優雅に奉納されました。

さて区報「萩の郷」も創刊100号です。歴代の編集委員の皆様ご苦勞様でした。慣れぬ構成・編集・原稿の依頼等遅くまで時間が掛かる時もあり、誤字チェックに神経を使い、悩む時も、関係皆様の力で成り立っています。御礼申し上げます。



浦安の舞



囃子屋台 (よ〜い／＼)

区の情勢について

区長 杉田 洋一



萩山神社春のお祭りが、三月二十四日・二十五日に執り行われ、萩の郷の安泰と五穀豊穡、無病息災を祈念いたしました。それに合わせ萩山郷土芸能保存会による獅子舞・囃子屋台が好天の中賑やかに奉納されました。準備作業から多くの区民の皆様のお力添えを頂きました事感謝申し上げます。

さて高森町では、一月に壬生新町長が誕生し、前島副町長・帯刀教育長が就任され新体制で動き出しました。下市田区では、三月に予算審議と常会長・区委員の合同会議が招集され、また四月には二十九年度会計の監査と代理員による決算審議が行われ、二十九年度の締めと、三十年度の計画を新年度の常会長・区委員の合同会議に報告されました。四月十一日には、地区計画による今年度建設課関係の工事個所の確認が行われ各自治会長に周知した所で御座います。

は、三月に予算審議と常会長・区委員の合同会議が招集され、また四月には二十九年度会計の監査と代理員による決算審議が行われ、二十九年度の締めと、三十年度の計画を新年度の常会長・区委員の合同会議に報告されました。四月十一日には、地区計画による今年度建設課関係の工事個所の確認が行われ各自治会長に周知した所で御座います。

工事をへて平成三十二年度中に運用開始になる予定で御座います。その先の水天宮から明神橋の間の拡幅工事も地権者のご理解を頂きながら詳細設計が完成し、今年度は用地・物件の補償を行い前件と同じく三十二年度中の完成を目途に進めている所です。その他県のスポーツ施設室内アリーナ等の誘致も町が主体となり検討されています。

下市田区では、区民の皆様方の要求により区民会館の営繕工事に踏み切りました。一階の三層屋をフロアリングにしてテールブルで会合や会食が出来るようにし、トイレをすべて洋式に改善する工事を六月初め完成で進めます。この萩の郷の皆様が届くころには、より使いやすい区民会館に生まれ変わっています。今年度も区民の皆様方の要求やご意見を大切にしながら安全で安心な地域造りを目指してまいります。より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 下市田区一般会計決算報告書

(自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日)

決算収入額 30,832,110円 決算支出額 24,584,989円 差引残高 6,247,121円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
前期繰越金	7,561,542	7,561,542	0
区 費	15,598,000	15,470,260	△ 127,740
町 支 出 金	8,600,000	3,550,363	△ 5,049,637
財 産 収 入	1,153,000	1,083,397	△ 69,603
地元負担金	185,000	122,500	△ 62,500
消防義務金	1,450,000	1,510,000	60,000
諸 収 入 金	913,000	1,534,048	621,048
繰 入 金	0	0	0
収入合計	35,460,542	30,832,110	△ 4,628,432

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	14,850,000	13,938,587	△ 911,413
環境衛生費	1,007,000	808,945	△ 198,055
林 務 費	720,000	715,556	△ 4,444
土 木 費	4,794,000	809,922	△ 3,984,078
水 利 費	6,416,000	2,623,165	△ 3,792,835
防 災 費	2,490,000	2,429,749	△ 60,251
公 民 館 費	3,000,000	3,000,000	0
予 備 費	2,183,542	259,065	△ 1,924,477
繰 出 金	0	0	0
支出合計	35,460,542	24,584,989	△ 10,875,553

平成29年度 公民館下市田支館決算報告書

(自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日)

決算収入額 4,039,476円 決算支出額 3,524,072円 差引残高 515,404円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	484,549	484,549	0
繰 入 金	3,000,000	3,000,000	0
補 助 金	520,000	545,917	25,917
雑 収 入	1,000	9,010	8,010
収入合計	4,005,549	4,039,476	33,927

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	1,930,000	1,800,156	△ 129,844
事 業 費	1,860,000	1,713,116	△ 146,884
広 報 費	11,000	10,800	△ 200
予 備 費	204,549	0	△ 204,549
支出合計	4,005,549	3,524,072	△ 481,477



平成二十九年度決算の
監査委員所見
監査委員長 松下博人
平成二十九年度の監査
を四月二十日に下市田区・
公民館下市田支館・萩山
神社、それぞれ実施致し
ました。
下市田区一般会計・特
別会計の決算報告書に基
づく監査、公民館下市田
支館決算報告書に基づく
監査、萩山神社社会計報告
書に基づく監査を行いま
した。それぞれの会計の
金銭出納帳・預金通帳・
領収書綴り・元帳・現金
等を精査した結果、適正
且つ正確に処理されてい
ることを認めご報告させ
ていただきます。

平成30年度 高森町公民館下市田支館 歳入歳出予算書

(自平成30年4月1日～至平成31年3月31日)

【収入の部】

【支出の部】

(単位 円)

科 目	本年度予算額	科 目	本年度予算額
繰越金	515,404	総務費	2,180,000
繰入金	3,000,000	事業費	1,820,000
補助金	520,000	広報費	11,000
雑収入	1,000	予備費	25,404
合 計	4,036,404	合 計	4,036,404

平成30年度 下市田区一般会計 歳入歳出予算書

(自平成30年4月1日～至平成31年3月31日)

【収入の部】

【支出の部】

(単位 円)

科 目	本年度予算額	科 目	本年度予算額
前期繰越金	6,247,121	総務費	19,637,000
区 費	15,200,000	環境衛生費	1,007,000
町支出金	11,587,000	林務費	720,000
財産収入	1,147,000	土木費	4,393,000
地元負担金	219,000	水利費	5,490,000
消防義務金	1,400,000	防災費	4,575,000
諸収入	1,295,000	公民館費	3,000,000
繰入金	5,277,000	予備費	3,550,121
合 計	42,372,121	合 計	42,372,121

平成30年度 公民館下市田支館事業計画

月日(曜)	事業名	内 容
6月15日(金)	*区報・館報 「萩の郷」 100号発行	・年3回発行
7月28日(土)	*萩の郷祭り	・盆踊り ・子供花火大会 ・演奏、演技 (保育園児) ・お楽しみコーナー
10月13日(土) ～14日(日)	*文化祭り 萩の郷ふれあい 広場	・作品展示 ・消防ふれあい祭り ・舞台発表
11月15日(木)	*区報・館報 「萩の郷」 101号発行	
11月17日(土) ～18日(日)	*「高森町まるごと 収穫祭」に テント村出店	・おしるこ 無料サービス (2,500食予定)
31年 2月1日(金)	*区報・館報 「萩の郷」 102号発行	
2月9日(土)	*地元町議との 懇談会	・テーマを決めてそ れに対する考えを 聞く ・町議からの活動報 告 ・区民からの質問、 要望 ・懇親会
3月下旬 (未定)	*萩山神社 春祭り夕祭 〃 本祭	・囃子屋台の短冊依 頼、飾りつけ ・囃子屋台引きの子 供へ法被貸与、お やつ配布 ・写真、ビデオ撮影 ・その他 お手伝い

平成30年度 公民館下市田各分館事業計画

区	月日(曜)	事業名	内 容
1	5月26日(土)	*一区親子ふれあい教室 (一区積善会館)	・保育園児・小学生を対象に親子ふれあいを 通じて親睦を深め、昼食を楽しむ。
	6月10日(日)	*一区スポーツ大会	・スローピッチソフト ワンバウンドふらばーるバレー
	7月21日(土)	*一区ふれあい広場夏祭り (一区積善会館 広場)	・夜店、ゲーム、踊り、子供神輿と花火大会
	9月16日(日)	*一区マレットゴルフ大会・懇親会	・マレットゴルフを通じて地域の親睦を図る。
	10月21日(日)	*一区ベタンク大会 (高森ドーム)	・常会にて親睦を深める。 (町大会予選会を兼ねる)
2	6月3日(日)	*下二ベタンク大会(高森ドーム)	・常会対抗
	7月14日(土)	*下二納涼祭(下二会館 広場)	・区民全員で楽しい夜を過ごす。
	10月7日(日)	*二区ふれあい運動会	
3	6月17日(日)	*多世代交流会&ちょっと防災	・子供と年配者との交流 軽スポーツの集い
	10月7日(日)	*三区ふれあい運動会	
	31年 1月27日(日)	*三区ベタンク大会(高森ドーム)	・常会対抗
4	6月10日(日)	*夏期スポーツ大会及び焼肉交流会 (南小学校グラウンド・体育館)	・スローピッチソフト、ふらばーるバレー、 焼肉交流会
	9月30日(日)	*ふれあい広場ミニ運動会	
	31年 1月1日(火)	*元旦マラソン大会(第29回) (分館・漸進会)	・元旦マラソン
5	6月24日(日)	*オーイお茶だに、(下五会館)	・子供から高齢者、双葉会、おいなんよの会、 民生委員
	9月2日(日)	*五区スポーツ大会(高森ドーム)	・ベタンク、グラウンドゴルフ、親睦会 (下五会館)
	12月24日(月)	*松取り、おやす作り(下五会館)	・育成会、PTA、子供
	31年 1月5日(土)	*ほんやり作り(下五会館)	・育成会、PTA、子供
	6日(日)	*ほんやり	・育成会、PTA、子供
	27日(日)	*オーイお茶だに、(下五会館)	・子供から高齢者、双葉会、おいなんよの会、 民生委員
6	5月20日(日)	*マレットゴルフ大会	・親水公園にて各組、常会対抗の大会
	7月20日(金)	*盆踊り講習会	・主に市田音頭 その他数種練習
	8月5日(日)	*納涼祭、盆踊り大会 青年部合同	・お祭り広場で夕涼みと盆踊り
	12月23日(日)	*正月飾り作り	・子供はオヤス、大人は門松、注連縄作りを 習う。
	31年 1月6日(日)	*どんど焼き	・明神橋上流河川敷 伝統行事のどんど焼き

地元町議との懇談会

二月十日、下市田区民会館にて、地元出身町議会議員との懇談会が行われ、三浦喜久夫議員、湯沢健彦議員、北沢幸保議員、林まゆみ議員が出席されました。

【三浦議員】

①一般質問では、リニア新時代に向けての観光振興、交流人口拡大をテーマに質問。議員研修会では、リニア時代の観光振興、議会改革等を勉強中。

②リニア開業、三遠南信道路開通等により伊那谷は変化する。ビジョンを持ち、開発も視野に入れた中で保全すべきこと、次世代のためになることを皆さんと考えたい。リニアの長野県駅に近い下市田は道路インフラの整備は必須。生活道路と幹線道路の位置づけを明確にした道路整備は最優先。

③リニア新時代に向けて、保全と開発の判断を慎重に。産業振興の中では市田柿で日本一を目指す。

【湯沢議員】

①一般質問では、平成三十一年五月の改元を機に町の発行する文書等の元号の西暦併記の提案、自治会未加入者への対応について質問。高森町政治倫理条例見直しについて意見提出。

②高森町政治倫理条例の見

直し。自動車運転免許返納後の移動手段の確保についてできる限り玄関から玄関へ。自治会未加入世帯と加入世帯との自治活動における公平性の問題。幅広い年齢層、多様な業種からの町議会議員の構成。

③高森町に住むことがステータスシンボルとなるような町づくりを。リニア開通による首都圏からの関連施設等の誘致、教育・芸術・医療・政治等の研究。

【北沢議員】

①一般質問では、介護職員の確保と事業所の安定経営に対して援助、レディースクリニックで病児・病後児保育の開設等について提案。

②工業団地の開発、市田柿工房周辺の見学・体験・飲食等、新たな観光拠点の整備。下市田河原のアリーナ構想。医療・介護・子育て・貧困等の困難を抱えている人たちにやさしい町づくり。車の運転ができないお年寄りの使い勝手の良い移送サービス構築。

③町民目線や住民自治を基本に、町民が築いた「平和・福祉の町」という憲法九条や二十五条を活かしてほし

い。保育園の建て替えは、統合や民営化といった国の意向を第一にせず、関係者や地域の皆さんの意見を十分聞いて進めてほしい。

【林議員】

①毎月の勉強会の開催。豊丘村の女性議員と連携し、女性たちで企画し学習する「今を知る会」を毎月開催。

②健康寿命を延ばし、地域で幸せに暮らすための身近な課題。女性のゆるやかなつながりをはぐくむ。シニア世代の支援。地域で子どもをはぐくむ。情報発信で活動の見える議会を目指す。

③町民一人ひとりが心のゆとりをもてる町づくり、おもいやりのある地域社会に。

《質疑応答・要望》

Q 福祉バスの使いやすさ、運用を考えてほしい。

A 湯沢議員 無料では限界があるが、個人の要望に応えたい。

A 林議員 地域ケア会議で課題となり、取り組もうとしている。

Q 直虎ブームで町にどんなメリットがあったか。

A 三浦議員 果物狩りの増。直虎御膳などによる経済効果もある。

Q 農産物加工施設はいつできるのか。

A 北沢議員

三月議会で審議する。

Q 加工施設を使いこなせる人材を探してほしい。町に観光課を作ったかどうか。

A 三浦議員

やり方は産業課で研究中。

Q 加工施設は当初の提案から七年経過。見通しは。

A 北沢議員

農家の意見を聞き、予算計上されるかという段階。

A 林議員

J Aの関わりが重要。利用枠が空いている。ニーズがあるのか意見をききたい。

A 三浦議員

六次産業を遂行。平成三十年度予算に盛り込まれるのではない。

Q 豊丘村は乗り合いタクシーがあるが、高森町はなぜできないのか。

A 湯沢議員

豊丘村の件は北部タクシーに確認したところ、費用の問題がある。個人負担増は仕方ないが、できるだけ要望に応えたい。

A 三浦議員

リニアを作るにあたり、大型車を通さなければならぬ。安全面を考え、地権者とも話をしていきたい。

A 杉田区長

拡張は地区計画での要望。地元の方々も了解している。

しい。女性議員増を要望。

A 湯沢議員

事実を知らなかったが、今後は対応したい。

A 林議員

応援ありがとうございませう。増えるよう声掛けをしていきたい。

Q 自動車運転免許の返納に不安。電動アシスト自転車に慣れておくのはどうか。

病院までタクシーで行くと高額となるので、福祉タクシーを使えたらと思う。

A 林議員

福祉バスや福祉タクシーなど、いくつか手段ができる。

A 三浦議員

電動アシスト自転車について学び、道路整備も併せて行いたい。

Q 出砂原の農免道路は損傷が激しい。重量車の制限をしてほしい。拡張の必要はない。

A 三浦議員

リニアを作るにあたり、大型車を通さなければならぬ。安全面を考え、地権者とも話をしていきたい。

A 杉田区長

拡張は地区計画での要望。地元の方々も了解している。



区報・館報「萩の郷」 100号の発刊にあたり

高森町長

壬生 照玄

下市田区民の皆様には、日頃から町政にご協力を賜り、御礼申し上げます。また、この度は「萩の郷」100号の発刊、大変おめでとございます。

先日消防団の任命式の折、退団者代表あいさつで、前第一分団長の北條智也さんは、「このように式典が開催されることが当たり前と思わないで欲しい。現在萩山神社の祭典など、地域は消防団経験者で支えているにも関わらず、団員確保は非常に厳しい。もっと区や地元を中心に協力が必要」と話されました。

就業形態の変化や都市的思想の広がり、地元への興味を希薄化し、地域防災を支え、後の地域の中核となる消防団への参加にさえご理解いただけないという危機的状況に、非常にショックを受

けました。

リニア新時代を九年後に控え、賑わいによるまちづくりへの期待が高まる一方、少子高齢化など課題も多く、今一度地域の自治や共助のあり方を考える時が来ています。若い彼の訴えをこのままにせず、区や自治会・町が協働して若者の消防団や地域づくりへの参画を促していく必要があり、若手の皆さんも含め、一

緒に、未来の地域づくりに向けて、話し合いから始めたいと考えています。終わりに、下市田区の益々の発展と区民の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

下市田区長

杉田 洋一

「萩の郷」100号発刊、おめでとございます。昭和五十九年一月一日創刊号が発刊され、区報・館報「萩の郷」は100号を達成

しました。公民館下市田支館の部員を中心とした歴代の編集委員の皆様とともに喜びたいと存じます。創刊号に当時の下田区長林直輔様が「昔の純農村は、今やあらゆる階層の住む混住社会となつてまいりました。こうした中で住みよい地域、下市田を造るにはどうしたらよいか」という苦慮をいたしておりますが今回発行の萩の郷もその目的の一つとして取り上げました。」と記されております。紙面を通して区民の皆様とコミュニケーションを図り人と人の結びつきを大切にしていこう、この事は今も目指している所です。リニア新時代に向けてこの下市田では益々動きが激しくなると思われます。このような情報は、区の情勢として細かく区民の皆様にお知らせしていきます。また創刊号から「萩山神社ものがたり」や、「史跡めぐり」がシリーズとして掲載され下市田の文化や歴史が紹介されています。「萩の郷」の紙面を通して

高森町公民館長

大洞 利雄

歴史と伝統ある「萩の郷」100号発行おめでとうございます。多くの関係者の方々の努力・熱意により達成された100号。区民の方々の喜びはひとしおのことと思います。

すばらしい活動、人々の考え、将来への思い等、その時々々の出来事を残していくことは、後世への記録としての重要性はもとより、区民の方々の一体感を生み出し、郷土愛を一層深めていく大切な働きを持つものです。

「萩の郷」は、皆様の力により、これからも長く継続されることと思ひます。区民の方々の思いが詰まった歴史的にも重要な資料として、充実・発展されますことをお祈り

申し上げます。お祝いの言葉いたします。

下市田区副区長

古瀬 栄一

昭和五十九年に第1号が発行され、三十有余年をかけての100号です。長い歴史の中で継続されてきた強さを感じます。まさに継続は力なりという事でしようか。先輩の苦

労努力の積み重ねと、編集委員の努力の結集の賜物と思います。この心の通っている区報・館報を200、300号と続けて発行されることを希望し、編集委員の皆様のご労苦に感謝し、100号記念に寄せる私の気持ちとさせていただきます。

下市田区会計

久保田 正博

区報・館報100号発刊おめでとございます。

私はこの地にお世話になって約四十年ですが、区報・館報は写真も多く親しみ易い記事で、若かりし頃の自分にとって、楽しい情報でした。今は会計の立場で堅い記事担

当ですが、毎年六月号で一般会計の前年度決算報告と今年度予算報告を掲載致しますので一読下さい。時の流れと共に今後も課題は無くなりませんが、区民と区を繋ぐ「心の架け橋」になればと期待しています。

下市田支館長

北沢 文治

区報・館報「萩の郷」が100号を迎えるに当たり編集に携わる者として嬉しく思うとともに、築き上げられた三十四年の歴史を深く感じております。

創刊号では皆様に愛される読み物、待たれる区報として育って行くこと、将来にわたって下市田区の歴史となるように大切に保存して頂きたいと祈念されておりました。

今、区民会館で保管している「萩の郷」を読み返してみると下市田区の歴史を振り返ることが出来る大切な資料と言えます。これからも150号、200号に向け「萩の郷」が後世に引き継がれて行くことを期待します。

町議会議員さんから お祝いの言葉

創刊100号によせて

北沢 幸保 (二区)

区報100号記念号の発刊誠におめでとうございます。これまで区報発刊に携わってこられた皆様のご尽力に深く感謝と敬意を申し上げます。私も二十数年前に何年か編集委員を担当させて頂き感慨深いものがありました。区報は、下市田の事業・会計・役員体制・各自治体の取り組み・区民や子どもからの寄稿などを掲載し、区民結集の要であり、区の歴史を遡ることが出来る貴重な文化遺産です。

下市田区の発展と区民の結集を図る区報の役割にご期待申し上げます。

次世代へつなぐツール

林 まゆみ (三区)

100号発行、誠におめでとうございます。長年の精力的な公民館活動と、役員の皆様方によるご努力の結晶と心より敬意を表します。私は町内から嫁ぎ十一年ですが、この活気ある萩の郷にご縁をいただき大変嬉

しく思っています。当初、まだご近所もよく知

残すということは、次の世代の指標にもなると思いま

次世代に残し伝えるひとつのツールとして、これからも末長く編集され、時代の記録を綴って頂けるようお願い致します。

三十年余の長きにわたり歴史を綴ってきた「萩の郷」、下市田区の貴重な財産として今後も受け継がれていくことを願ひいたします。

100号の発刊によせて

湯沢 健彦 (六区)

僅か数ページの紙面ではありますが、作成の過程においては議論が飛びかい多くの時間が費やされたことと思います。それらが礎となつて、また、多くの部員の方々の引き継ぎによって100号の発刊をむかえられたこと誠にありがとうございます。

時の流れは瞬時に振り返

えることはできませんが、しかし積み重ねてきた時間は膨大なものとなります。100号という積み重ねてきた重みを糧に、また区民の支えによってさらなる発刊を重ねられるようお祈り申し上げます。

自治会長さんから お祝いの言葉

区報・館報100号のお祝いと

一区の目指す先

松田 忠弘 (一区)

継続は力なりと言われまが、工夫を重ね昨年の100号おめでとうございます。今後も更に内容を充実させて区民に対する情報提供、知識の向上、知る喜び等に寄与出来ます様区民全員で作りに上げて行きましょう。

さて一区は皆様ご存じの様に東京に例えれば霞ヶ関周辺の自治会・行政・教育・文化等が集中し公園も二つあります。昨年七組の若い家庭が自治会に入会いただいた反面、高齢になり常会に迷惑をかけたくないと脱会された家庭も、又ご近所との付き合いや絆より個人の生活を優先させたい方が多く、災害発生時の混乱が心配されます。

一昨年大規模宅地造成が完成、本年度も同等な造成が予定されています。この段階から開発メーカーと協調し自治会加入の前倒しを実施して参ります。一区に住みたい。一区へ来て良かつ

たと言われる魅力ある一区を目指します。その為には何が必要

は生涯現役、健康寿命の高い一区を目指します。

創刊100号によせて

福島 昇 (二区)

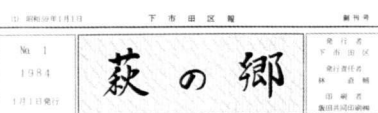
か、区民の皆様の意識改革です。時代の変転に伴い、今まで通りで良いではなく何か一つでも新しい事を考えていただく事を頭の片隅に置いて生活の一部としていただけたらと思います。

例えば今の仕事に対して、もっと早く、楽に、安く、安全に出来ないかと考える癖を持つ事も一つの方法と考えます。又町・区・自治会の行事、コミュニティ事業、健康教室等に家族で積極的に参加いただき気運を高める事も大切です。まず出来る事から参加スタートを切りましょう。笑いは周囲を和ませ人を幸福に導きます。笑顔と大きな笑い声

三十四年間という長期にわたり発刊にたずさわられた歴代の区・支館の三役及び支館部員の皆様に敬意を表します。

今後も200号、300号と継続して発刊できたらすごいですね。

林 直一 (三区)



皆さんの花
白き花の影は
初めは静かなる
静かに咲く花
白き花の影は
初めは静かなる
静かに咲く花
白き花の影は
初めは静かなる
静かに咲く花

昭和59年1月1日発行の
「萩の郷」創刊号

区報・館報に寄せて

加藤 茂美 (四区)

100号発行おめでとうござ
います。次の100号は三十四
年後、少子高齢化、産業の
多様化に伴う勤務形態や休
日も様々な中での地域交流
の困難さ、さて200号発行の
時、萩の郷の地域交流はど
ういうふうになっているのだろ
うか。

創刊100号によせて

佐藤 光吉 (五区)

大きな節目となる100号の
発行、誠におめでとうござ
います。三十四年間の長き
にわたり編集・発行に携わ
られた皆様方の御苦労に敬
意を表する次第であります。
これからも区民の皆様にあ
読される萩の郷として魅力
があり充実した紙面とな
りますよう御期待申し上げま
す。

区報100号

発行に寄せて

木下 富由 (六区)

下市田区報・館報100号創
刊おめでとうござい
ます。「継続は力なり」と云う諺
がありますが、数十年来多

くの関係者の労苦の賜物と
思います。昨今メディアの
違いによる活字離れが言わ
れています。地域情報満
載の館報発行を楽しみに拝
読させていただいています。
地域のコミュニケーション
紙として200号、300号発行を
目指して下さい。
最後に関係各位の皆様方
御苦労様です。

分館関係の方から

お祝いの言葉

「萩の郷」
100号発行に寄せて

上 沼 寛

(三区分館長)

昭和五十九年に1号が発
行されて以来、年に三回の
発行が積み重ねられ、区報・
館報「萩の郷」の発行がい
よいよ100号になると聞き
しました。節目となる100
号の発行、誠におめでとう
ございます。またその間、発
行にご尽力を頂きました関
係者の皆様方に心より感謝
申し上げます。

私は、県外から下市田三
区に移り住みましたので、
正直なところ「萩の郷」の
ことは知りませんでした。
恥ずかしながら五年前に分

創刊100号によせて

林 清 志

(四区副自治会長)

下市田区報誌100号達成お
めでとうござい
ます。

この間、多くの方々のご
尽力に敬意を表しますと共
に、今後も萩の郷下市田が
リニア新時代に向け発展し
この区報が情報発信の一助
になることを願います。

館主事になり、初め
て知った次第です。

読んでみると、区や各自治
会等で行われている様々な
出来事が書かれており、地
域の事を知る貴重な手がか
りになっています。今では、
各家庭に配布されるのを楽
しみに待つ程です。今後も
末永く、宝物の「萩の郷」
が継続発行される事を切に
願っています。

下市田区報・館報

100号に寄せて

池田 直人

(四区分館長)

区報・館報は区の情勢や
地域の身近な話題が掲載さ
れており、毎回楽しく拝見
するとともに、編集に携わ
ておられる皆様に感謝して
います。

私も平成五年から四年間
編集委員として携わらせて
いただき、その頃が懐かし
く思い出されます。

お祝いのメッセージ

宮下 征司

(三分館主事)

区報・館報「萩の郷」100
号の発行おめでとうござい
ます。一年間で三回発行され
ることを考えると、約三十
三年にもおよぶ歴史の重み
を感じます。

さて、私事になりますが、
下市田に引っ越してきて七
年が経ちました。とても暮
らしやすい地域で、萩の郷
祭り・運動会など、とても
楽しみにしております。今
年は少しでも恩返しができ
ればと思い、三区の分館主
事をやらせていただきま
す。今までのように暮らし
やすく、そして仲が良く、
下市田がリニア時代に向け
てさらに発展していったほ
しいと思います。

区報・館報「萩の郷」の発
行についても地域の様々な
情報を今後も発信し続け、
200号、300号を目指してい
てほしいと思います。
この度は、100号の発行お
めでとうござい
ます。

創刊100号によせて

土岐 哲生

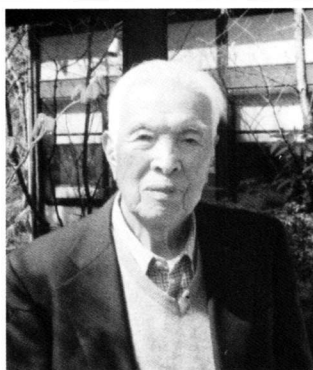
(四区分館主事)

「萩の郷」100号発行おめ
どうございます。編集委
員の皆さんが身近で読みや
すい区報、読んで楽しい紙
面を作ろうと努力されてい
る」と聞きましたが大変ご
苦労様です。100号を数える
区報の誌面からは萩の郷の
過去・歴史、又未来・将来
が見えて来ます。これから
も「萩の郷」の発行を楽し
みにしています。

祝「萩の郷」創刊100号

四区 原 次郎

中にも色々と学
習でき良き思い
出です。



特に14号発行の折、
区民会館が老朽化し建
替えが話題となった時、
古い資料を探索したが、
当時の過去の区文書は
旧公民館二階に山積み
されておりました。出し
にくく苦い体験をした
ものでした。

この度は「萩の郷」創
刊100号発刊誠におめでと
うございます。
創刊は昭和五十九年と
なっており、当時の林直
輔区長の折、町・区的情
勢を区民に知らせ、意見
を頂き、区作りに反映し
ていくという発想から
誕生した物であります。
当時は年三回の発行で
たまたま私達編集委員が
及ばずながら係で4号、
14号まで担当し、苦勞の
確信しています。

下市田区報・館報の 発行を振り返って

三区 田戸 純市

創刊号は、昭和五十九年一月一日発行された。当時の区長は、林直輔氏、公民館長小島正美氏であった。前年の五十八年、林区長は、町には広報たかもり・公民館報たかもりが発行されているが、区にはその様なものが無い。区的情勢・区民の思いを発表する必要があると考えられて、区代議員・

公民館関係者と、研究を重ね、区的情勢・各種グループの活動・転出入者の感想・小中学生の作文など、又公民館活動の状況など有意義な区報・館報が逐次、生生々々として今日に及んで居るのである。発行前後の編集委員として、万感胸に迫るものがあ



平成12年6月1日発行の「萩の郷」第46号からA4判になりました

区民からの投稿

区報・館報の発行に關った

十年間の思い出

三区 木下 豊



もう古い話ですが、私は平成九年一月から平成十九年十月までの約十年間(37号・67号)、区報・館報の編集委員として、また発行責

任者として関らせで貰いました。45号まではB5判でしたが「文字が細かくて見にくい」というような声に応えて、46号からは一頁の字数を増やさず紙面をA4判とし、紙質もよくしたことが好評でした。平成十二年度に「下市田公民館研究委員会」を設立し、六回に亘り開催され、研究の結果、下市田支館の組織や事業の内容が大幅に変更されました。

平成六年に下市田区より整理を依頼された資料については、責任上、朝から暮れ方迄、毎週手弁当て分類整理に勤めましたが、お借りした社務所での冬は寒く大分つらい思いも致しました。其の後新しい区民会館に移り、狭いとは言え保管場所も出来、「下市田区有文書目録」も仕上がり整理は一応終了しました。唯今は後世の為と考え古文書の解説奉仕と内容の解説等を行っております。(平成九年「萩の郷」39号 随想に掲載の写真)

100号特集 創刊号の編集委員に聞く

「萩の郷」100号の

発行に寄せて

三区 福島 正夫



長(三区)、小島正美公民館長(四区)二人の肝入りで発行に至りました。当時の編集委員は公民館長と主事を含む教養部員十名と正副区長が当たり、原稿の依頼・構成・編集・割り付けに苦勞しました。創刊号を改めて紐解いて見ますと、一頁は「萩

日発行、当時の林直輔区

山神社社殿の写真」と、「投稿文」、二頁には区長の「発刊の挨拶」、土屋公副区長の「区の動きと懸案事項」、公民館長「挨拶」、三・七頁省略、八頁には「作文」(子供欄)、編集後記。以上の編集形態でしたので現在もほぼ継承されている模様です。「区報」は地域社会活動の歴史的記録であり、投稿者を通じての人のつながりが感じられ、重要な事業であり、今後200号に向け益々期待されるものであります。

下市田区有文書の 発掘にかかわって

六区 福島 壽子



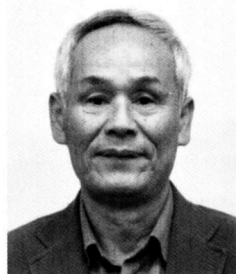
萩の郷100号の発行おめでとうございます。平成元年だったと思います。町の公民館で古文書教室が開かれまして、そこに参加させて頂き古文書の大切さを教えられました。個人の所有し

ています文書は別として、下市田の古い行政等、広い範囲に亘る文書は何処に保存されているのか、関係者に尋ねましたところ神社の宝蔵庫に一部入れて有るのではないかとのお返事でした。神社総代の方にお願いして、一階の筆筒の中と、二階に雑然と山積みされた文書が見つかり、宝蔵庫の中では、雨漏り、鼠の巣となり見るに忍びない程になってしまった書もあり、漸く取り出した文書の中には中世以後の重要なものも沢山有りました。

委員会活動報告

水利委員長 大島 一 弘

区民の皆さま、日頃は水利委員の活動にご理解、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。私は昨年度より水利委員長を務めさせていただいております下市田五区の大島と申します。水利委員の主な活動といたしまして、農地転用の確認・承認、地区計画の会議に出席・現地視察等があり、作業としては、区民の皆さまには大変にお世話になっております。春に行われる用排水路清掃、そして下市田区に四か所ある堤の土手草刈り作業、又委員のみで行う堤のぐどば藤の撤去作業、堤の土手草焼作業などがあります。私自身、水利委員



久保田 敏 夫

を受けての前までは水利と係わりも無く、河川の名も堤の名称も知らなかった者が委員長を受けることに恥ずかしさがありました。が、事業に係わる皆さまの協力がありましてその都度勉強させていただくことに感謝しております。最後に水系は維持・管理・権利等の判断が難しいところがあり、水利委員としても苦慮することもあります。区民の皆さまのご理解をお願い致します。

新代議員の紹介

今年度より三区自治会長に昨年まで副自治会長（代議員）の林直一さんが就任されました。

また一人空席だった三区代議員は久保田敏夫さんに決まり十五人の代議員が揃いました。一年間よろしく願います。

元気な下市田区を

六区 熊谷元尋

今年、一月二十二日の任期満了をもって高森町長を退任いたしました。三期十二年務めることができたのも、町民の皆さまのご支援とご協力のおかげです。特に、下市田区の皆さまには、イベント等にお招きをいただくと共に、親しく接していただき本当にありがとうございました。退任後にも「どうして辞

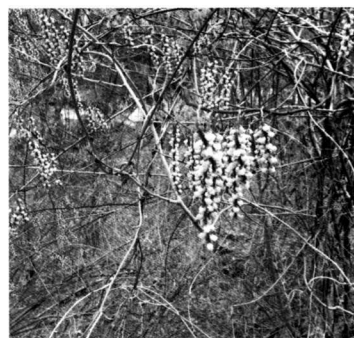
随想

小さな感動

四区 竹村征夫

黄緑色のスズランの花が25cm位の房状になっていっぱいぶら下がっている、何

度も通ったことがある不動滝までの谷だ。周りにまだ緑が少ないこの時期にめっちゃ派手に威張って表現している。今まで見たことが無い、本当に新鮮な感動だ。名前がわからず図鑑・インターネットあらゆる物を使って調べた。半日以上



「めたんな」年齢的にもまだ続けられたんじゃないの」といったように声をかけてくださる方もいらっ

しやり、ありがたいことだと感謝しています。

退任の理由はいくつかありますが、私は常々町長という職は町民の皆さまに与えていただいた期間限定の役割だと思っています。いつまでも同じ人間が続けることは決まっています。ではない、長く続けることが、

最後は自分のためであったり、組織のために働くことにはなるのではないかと考えています。自分の考えを捻じ曲げてまで町

かかってわかった、キブシ（木五倍子）の花らしい、名前がわかって更に興奮した。高森町の小さな感動でした。

長職を続けてはいけいなど考えました。

リニア新時代を見据え、下市田区内にもリニア関連の課題があります。また、身近な課題では空き家も少しずつ増え、耕作されなくなつた農地も各所で見受けられます。そして高齢社会にあって自治組織の在り方

を高め、地域をどのように維持していくのか。これらの課題にはどれも決定打はないと思います。みんなで話し合い、解決していかねければなりません。

歴史が好きになった話

三区 松村 一

小学校・中学校の社会科の授業は、私にとっては地獄で、最も嫌いな授業の一つでした。

長年勤めた会社の定年を迎え、さてこれから何をしようかと思った時、町の資料館の臨時職員の募集が目

に留まりました。一般事務の補助ということでパソコンができるということが条件でした。早速応募し採用となりました。

資料館の仕事の中で町の古文書研究会の事務局の担当をさせていただき、生まれて初めて古文書に接し、ここで歴史に向き合う機会ができました。

古文書研究会は主に江戸

時代（もんじょ）を講師の先生の指導で読み解いていく研究会であり、最初のころは文字すら読めず何が書かれているのかチンプンカンプンでした。文書を解読するよりその中に書かれている当時の生活の様子、考えが面白く、すっからはまり込んでしまいました。

資料館を退職してからもう八年ほどになりますが現在も古文書研究会のメンバーとして他のメンバー二十数人と共に毎月一回の研究会に参加し勉強させていただいております。歴史が嫌いだった私がちょっとしたきっかけから古文書を通して歴史に興味を持ち、今では町・下市田の歴史を学ぶことが楽しくなっています。

資料館を退職してからもう八年ほどになりますが現在も古文書研究会のメンバーとして他のメンバー二十数人と共に毎月一回の研究会に参加し勉強させていただいております。歴史が嫌いだった私がちょっとしたきっかけから古文書を通して歴史に興味を持ち、今では町・下市田の歴史を学ぶことが楽しくなっています。

萩山神社春祭りによせて

萩山郷土芸能保存会

幹事長 長尾敏一

幹事長の二区、長尾

でございます。

春祭りの際には、関係各位ならびに区民皆様方の思いと協力により、何年に一度と言う晴天続きの中、盛大に一人の怪我もなく順調に出来ました。心より御礼申し上げます。

又反省会の折には、貴重な御意見等をいただき、幹事一同、又来年の祭りに向け精一杯頑張る所存です。

三十年度としては、十一月の総会に向け、備品の改修、規約の改正と補



助金の申請等に取り組んでまいります。宜しくお願い致します。



獅子部長 原文夫

保育園の皆さん保護者の皆さん、宵祭り、本祭りの皆さん、大変お世話になりました。春祭りが無事終える事が出来ました。

獅子部では部員が少なく満足できるお祭りが出来なくなってきました。毎月第二金曜日を練習日としていますので練習を見に来て下さい。簡単な曲から難しい曲が七曲あります。尚楽器は笛・小太鼓・大太鼓・おおかわ・つづみ・すりかね・三味線があります。

獅子部長 矢澤克浩

伊那谷の春は、萩山神社春祭りの獅子舞いで始まるとされ、今年は晴天にも恵まれ盛大に終えることが出来ました。

この二二〇年以上続く伝統あるお祭りを担っているのが全区民で組織する萩山郷土芸能保存会であり、その中に獅子部があります。

獅子部も毎年、お祭りを迎える稽古で所作の習得だけでなく獅子舞いの由来、獅子曳きとの掛け合いなどを意見交換しながら伝統文化伝承の担い手として祭りを楽しんでいます。

是非、興味をお持ちの方、男性・女性を問わず歓迎致します。



萩山神社 献詠歌披露

永受嘉福

獅子舞の伝統つなぐ萩の郷
笛や太鼓に桜もおどる

直虎のブーム去りしも城あどが

未来に伝える亀之丞の面影

平昌の舞台で躍るカーリング

「そだね」でつかんだ悲願のメダル

(下四 池田)

東風吹かば減反の田にレタス植え

結の集いに春の日注ぐ(倉沢成信)

永受嘉福 (熊谷元尋)

獅子舞の伝統つなぐ萩の郷

笛や太鼓に桜もおどる

春祭り梅王松王桜丸の

獅子引き続き 宝となりおり

獅子頭 何度も身ぶるい 牡丹雪

萩山の里に春来て祭笛 (愉高)

獅子曳く子等の凜とした所作

春祭り梅王松王桜丸の

獅子引き続き 宝となりおり

獅子頭 何度も身ぶるい 牡丹雪

萩山の里に春来て祭笛 (愉高)

獅子曳く子等の凜とした所作

判読に誤りがありましたらお詫び致します。

さと山は桜そこに薄化粧

桜咲く屋台獅子引く御三家が

向かう社は浦安の舞

泣かぬ子に鬼が二度来る春祭

萩山に飛び交う鴉の声よりも

一際艶る獅子人の笛

はる風や希望も

未知もランドセル (光愛)

獅子が舞う松王梅王桜丸

出砂原氏子の春のおとずれ

(岡本宏子)

朝から太鼓のひびき聞こえて

萩山の里は祭り一色

(井駒よ志子)

梅咲く屋台獅子引く御三家が

向かう社は浦安の舞

泣かぬ子に鬼が二度来る春祭

萩山の里は祭り一色

判読に誤りがありましたらお詫び致します。

伝統ある浦安の舞

中一 小川由凜（三区）

私は春祭りで浦安の舞を見て私もやってみたいと思いました。なのでなれた時はうれしかったです。一週間のけい古をしました。DVDをほぼ毎日見て舞を覚えました。日常ではないゆったりとした日本独特のリズムで最初は曲よりも速く動いたりしてしまいました。でも毎日やっていくうちに曲に乗りよゆうを持つ

てゆったり舞え
るようになりま

もしろく、けい古の時間が楽しみになりました。メンバーも仲良く楽しい時間を過ごせました。本番では少しきんちょうしていました。でも伊藤美容院の方にヘアメイクをやってもらいました。とてもワクワクしました。衣装も巫女みたいな服で



した。時間になり一列になつて歩きました。そして神殿で浦安の舞を奉納

しました。

に舞えたので
良かったです。
私は玉串もや
りました。う
まくできてほ
められました。
またやりたい
し、伝統ある
浦安の舞を受
けついでいき
たいです。

わたしの作文
 ぼくの作文



ししひきがあら
ぼくは梅王をや
朝早くから集ま
ようをして衣し
ました。かた車
まで行きました
安養寺で記念品
ました。出砂原
のお祭り広場で
まいりました。か
つらをかぶって
いて頭が痛かつ
たけどがんばり
ました。昼ご飯
を食べて休けい
してからパース
でまいりました。



に引っぱられて大変でした。でも最後までしっかりまう事ができてよかったです。神社でもちをまきました。そしてかた車で区民会館まで行きました。その後に祝賀会がありました。おいしかった。一日中やってつかれたけどしっかりと出来たので良かったです。

ししひき

小五井口陽翔（二区）

沢山の人が見にきて大変でした。でも最後まで通りました。

浦安の舞姫の皆さん



青木陽芽花さん(六区)
宮下咲良さん(五区)
林七海さん(四区)
小川由凜さん(三区)
鈴木愛莉さん(二区)
伊東舞織さん(一区)

獅子曳きの皆さん



梅王井口陽翔くん
五年生（一区）

松王桐野優輝くん
五年生（四区）

桜丸大澤有葉くん
五年生（二区）

奉納
萩山獅子

今年も三月二十四日・二十五日に萩山神社の春祭りが行われました。
頑張ってくれた子ども達を紹介します。

松岡城址・新緑の会

松岡城址愛護会 竹村征夫

四月二十九日(日)気持ち良い天の風がほほに触



れ六十本余りの鯉のぼりが元気の回松岡城址新緑(はる)の会が行われました。木遣り喇叭保存会によるオープニングの気合い入れ。新町長・新教育長の紹介を含めた段丘の景観を守る方向に行くようだ。

自分より大きな太鼓を一生懸命たたくキッズ彩から演奏会がスタート、コカリナ・尺八・舞踊・二胡・合唱と素晴らしい演

常会長・区委員 合同会議

四月二十二日、区民会館大ホールにおいて、平成三十年度下市田区の常会長・区委員合同会議が行われました。

毎年四月と年度末の三月に行われるこの会議は各常会長・下市田区の代議員と各委員・公民館・神社・保存会・民生委員・農業委員・町議会議員等の皆様にお集まり頂く区の重要な会議です。今回は百五十人ほどの



奏が続きました。鯉のぼりの設置、会場の準備、テント張り、車の移動の案内、多くの区民の皆様が協力がありました。茶野点では大勢の女子高生が喜んで参加し多くの観客が若さと笑顔を共有できました。多くの人がこの活動に参加し城址の保護に関心を深めるようお願いします。

分館長・主事 研修旅行

まだ肌寒く雪が舞う二月十二日に、分館長・主事の研修旅行を行いました。朝七時に区民会館を出発、恵那山トンネルを越えたあたりは雪が降っていました。春日井のインターチェンジに近づくにつれ天候も回復してきました。

最初の目的地が、アサヒビール名古屋工場の見学なので、バス車内でのアルコールもみな控え気味にはなっていました。祝日であり製造工場は稼働していませんでしたが、案内係の方の説明でビールの出来上がるま

支館役員の交代

三月末をもって三区分館主事の三浦喜久夫さんが任期終了で退任されました。後任には宮下征司さんが選出され二年間分館主事としてお務め頂きます。



宮下 征司

また支館部員の三区中島ひとみさん、五区壬生亜季乃さん、六区湯沢広

での工程を見学、原料の展示もあり実際に麦芽やホップに触れて感触を味わい、試飲コーナーでは出来立てのビールの味を堪能しました。お昼は館山寺温泉のサゴロイヤ

最後に、浜松のお土産の定番である、うなぎパイ工場の見学、お土産もしっかり購入して、帰路につきました。午後八時過ぎ無事高森に帰着。バスの車内では、行きも帰りも大いに盛り上がり相互の親睦も深まり、大変有意義な研修旅行となりました。松村啓八記



編集後記

昭和五十九年一月創刊の区報・館報「萩の郷」が三十四年の歳月をかけた、また多くの皆様に支えられて100号を迎えることになりました。

今回は記念号として4ページ増量し、創刊に係わった方、編集委員として活躍された方など大勢の皆様より100号に寄せる思いを寄稿して頂きました。またお忙しい中、壬生町長さん、大洞公民館長さんからもお祝いのメッセージを頂きました。寄稿頂いた皆様にお礼を申し上げます。